



札幌市サッカースポーツ少年団連盟 広報紙
2023. 12. 26 No. 11

きずな

3部リーグEブロック

3部Eブロックは、上白石、清田FC、前田中央、宮の丘、札幌ジュニアFCパープル、伏古北FC、札幌開成、発寒、HKD2ndの9チームでの戦いとなりました。

4～6月でほぼ一巡目を消化し、清田FC、ジュニアパープル、上白石がトップ争いを繰り広げました。清田FCは清田南と清田緑が合併し、今シーズンから清田FCとして新たな船出となりましたが、一巡目をトップで折り返す素晴らしいスタートを切ることができました。



7～9月、雨と猛暑でリーグ戦が開催できず日程の延期が続く中、5年生主体で構成されているジュニアパープルとHKD2ndのメンバーがU11トラック杯予選を勝ち抜き、共に全道大会で活躍しました。

10月～11月、力をつけてきたHKD2nd、6年生がサイズアップしてきた前田中央の台頭もあり、全体的にレベルが拮抗してきた中、清田FCだけが安定した戦いで2巡目もトップをキープし、通算14勝2敗で見事に優勝を果たしました。

人数の少ない少年団チームが多いブロックでしたが、特に5・6年生が少ないチームは苦戦を強いられました。発寒は健闘していたものの未勝利のまま最終戦を迎えることになりましたが、そこでなんと初勝利を挙げることができました。試合終了後、6年生を中心に選手達が抱き合って涙を流す場面は感動的でした。



運営面では、7～9月に延期が続いたことでリーグ戦の日程消化が困難な状況に陥りましたが、各チームの献身的な協力体制の下、最終日までつれ込みながらなんとか全試合消化することができました。大変でしたが、Eブロック全体で絆を深めたシーズンになったと思います。